

2025 年度第一次教育学研究科 入学試験問題(直接解答)			
博士課程前期課程	共生教育研究領域	試験科目 専門科目	受験番号 番

解答記入不可

↑

問題1

心理学者 E.H.エリクソン(1902-1994)がはじめて構想したライフサイクル論の考え方について、以下の問いに答えよ。

(1) その「発達」理解の全体的な特徴についていくつかの観点を挙げ、それらを説明せよ。

(2) この考え方が、近代の「教育」理解に及ぼした影響はどのようなものであったかについて論ぜよ。

3枚中

1

2025 年度第一次教育学研究科 入学試験問題(直接解答)			
博士課程前期課程	共生教育研究領域	試験科目 専門科目	受験番号 番

解答記入不可
↑

問題2
インクルーシブ教育の考え方を説明した上で、通常の学級においてどのような実践が可能か論ぜよ。

3枚中

2

2025 年度第一次教育学研究科 入学試験問題(直接解答)

博士課程前期課程	共生教育研究領域	試験科目 専門科目	受験番号 番
----------	----------	--------------	-----------

解答記入不可

↑

問題 3

J・S・ブルナー(Jerome Seymour Bruner, 1915-2016)の『教育の過程』における仮説(ブルナー仮説)を説明し、現在の学校教育の実践における活用方法を論ぜよ。



3枚中

3

2025 年度 第一次 教育学研究科入学試験問題

博士課程前期課程／共生教育研究領域／専門科目（出題意図）

出題意図

[問題 1]

成人を頂点とする直線的で固定化された発達理解を越えて、誕生から死に至るライフサイクルにおけるそれぞれの風景を同等に価値あるものとみなし、円環的な時間の流れの中で異世代間の相互生成として教育を捉え直すことが、今日の教育の閉塞状況から脱出する喫緊の課題である。このことから、その先駆的な基礎理論となったエリクソンのライフサイクル論の意義を問うた。

[問題 2]

通常の学級で実現が可能なインクルーシブ教育に関する知識や関心と、それを論理的に表現する力を問う。

[問題 3]

過去の有名な教育を現在の教育に有効に活用する観点を論理的に説明する能力を問う。

2025 年度 第一次 教育学研究科入学試験問題

博士課程前期課程／共生教育研究領域／専門科目（解答例）

解答例

[問題 1]

(1)

- ・心理・社会的な視点に基づいたエピジェネティック・ダイアグラムの特徴について説明できている。
- ・誕生から死に至るまでの人生周期（ライフサイクル）を視野に入れただけでなく、他者のライフサイクルとの噛み合わせにおいて相互に生成している視点を理解し、構造的に表現できている。

(2)

- ・近代の産物である「教育」が、大人から子どもへの意図的計画的な働きかけを問題にしている中であって、異世代間の相互生成の現実を初めて言語化、理論化し、人間形成を、相互的、重層的で、ダイナミックなものとして提示する意味で画期的であったことを論じている。

[問題 2]

- ・通常の学級の間での実践例（エピソード）をもとに論じていること。
- ・インクルーシブ教育についての専門的な知識や理論について論じていること。
- ・通常の学級に在籍する児童や生徒の発達や学び、児童や生徒の背景にある生活や環境等について論じていること。

[問題 3]

- ・ J・S・ブルーナー(Jerome Seymour Bruner, 1915-2016)の説明をする。
- ・『教育の過程』の説明をする。
- ・現在の学校教育における『教育の過程』の活用観点を述べる。